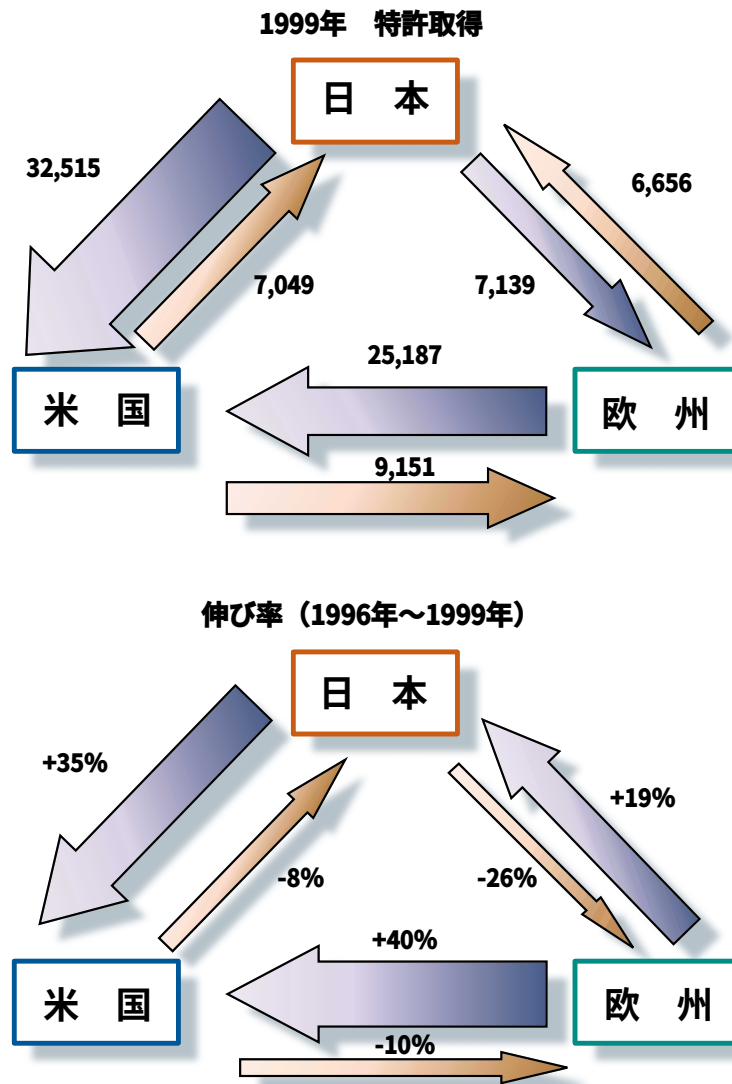


(2) 出願のグローバル化

① 日米欧三極間の特許取得件数・伸び率の比較



日本、欧州は、米国において多くの特許を取得している。

特に、日本の米国における特許取得数は、米国の日本における特許取得数の約4.6倍と件数では圧倒している。

(注) 特許取得件数は、EPO年報、USPTO年報に記載の特許取得件数を集計。また、欧州による特許取得件数は、EPC加盟国中の主要14ヶ国（イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、フィンランド、フランス、ベルギー、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ）の出願データのみを集計した。

1996年の日本での特許取得件数については、付与後異議制度が新しく導入されたことにより、旧異議制度下における出願の特許発行処理に加えて、新異議制度下における出願の特許発行処理を同時に行ったため、通常より多くの特許が発行されたので、1996年の特許取得件数については増分を補正値（1/1.83倍）で補正した。